

右 建物の最上階にある、小さなオフィスはパリジヌの屋根裏部屋のよう。イラストレーター、カナコの絵が壁を飾る。下 オフィスにあるキッチンでは、毎日、出張料理人がランチを作る。右下 自然光が入る、快適でキュートなオフィス。



オフィスから見えるサクレクール寺院。パリならではの眺めに刺激されて、アイディアが湧いてくる。



THE VIEW
OUT OF THE WINDOW

10 QUESTIONS

- A1. ヴィンテージとクラシックのミックス。好きなブランドは「Iro」。
- A2. ダイアン・フォン・ファステンバーグ。
- A3. フランソワ・トリュフォー、クロード・ルルーシュ、ビリー・ワイルダーの映画。
- A4. 30歳、会社を辞めて起業した。
- A5. 「毎日ひとつ新しいアイディアを生み出す」
- A6. 未婚だが、恋人あり。
- A7. ゆっくり朝食をとつてから、マルシェに行ったり、マッサージに行ったり。
- A8. 出身地の特産チーズのサンネクテール。
- A9. インスピレーションをくれるまわりの人々。
- A10. ローストチキンが大好きで、ロティスリーの前を素通りできない。



オフィスに続く廊下にはファニーが蚤の市で見つけたヴィンテージものやカナコのイラストが飾られる。堅苦しくなく、出社するのが楽しみになる空間。

IDEA SOURCE



発想源は「エロイーズ」
『ザ・ハウス・ドクター』など
子供の頃に読んだ絵本、インテリア雑誌。右は、葉っぱの飾り付きの愛用のペン。重要な契約をサインするときにも。

パリという夢を届ける
おしゃれなサプライズ

FANY PÉCHIODAT

ファニー・ペショダ (My Little Paris 創設者)

RESUME 23歳 → エリート養成を目的とした名門ビジネス大学校ESCPを卒業後、ロレアル、資生堂でフレグランスのマーケティングに携わる。30歳 → 「マイ・リトル・パリ」をスタート。36歳 → 定期購読者は100万人、2013年の売り上げは1500万ユーロ。昨年、株式の過半数を売却した。

「マイ・リトル・パリ」のオフィスは、ジャマン・ピュエッシュのデザインデュオが以前住んでいたアパルトマン。キッチン付きで、屋上に庭があり、ヴィンテージ家具やオブジェが並ぶ、オフィスというよりもパリジェンヌのアパルトマンのよう。ファニーが、新しいアイディアを生み出す自由な環境をいかに重要視しているかの表れだ。

ファニーが趣味で友人50人に話題の店や楽しい情報を無料配信していたのが2008年。クチコミでやがてそれが300人になり、1万人にまで膨れ上がったところで、「これはビジネスになる」と確信した。1年間、資生堂のマーケティングの仕事と二足のわらじをはきながら、妹と友人カナコと3人で運営。リスクを冒しても、オーダーメイドの人生を選び、より強くなりたいと思い退社を決意。今やニュースレターの購読者は100万人にまでのぼり、「11年から企業とコラボして、化粧品、ファッション雑貨などのサプライズがつまた箱「マイ・リトル・ボックス」も開始した。「子供の頃は妖精になったかった。私は今でも夢を見ているけれど、同時に計画的で戦略的もある」。ただ夢見るだけではない彼女は、ビジネス・エリート養成大学校を卒業後、夢をビジネスに変えてきた。自分を支えているのは「従業員です」ときっぱり。「私に着想をくれる人を大切にしたいと思っているし、この人をリクルートしたいと思ったら、何年かかってもじっくり説得する」

昨年、株の大部分をフランスのメディアグループ「Aufeminin.com」に売却。その資金でどんな新ビジネスを始めるかは未定だが、そのバイタリティと刺激的なアイディアに今後も注目だ。

What's your job?

マイ・リトル・パリは、パリの最新情報をニュースレターで配信。マイ・リトル・ボックスは、毎月のテーマで、コスメやファッション小物など中身が変わるサプライズボックスを、登録した会員に届ける。社員数:70
www.mylittleparis.com/
(日本)www.mylittlebox.jp/

